



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場会社名 株式会社ツカモトコーポレーション
コード番号 8025

上場取引所 東
URL <https://www.tsukamoto.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長

(氏名) 田中 文人
(氏名) 角田 英二 (TEL) 03-3279-1330

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	2,670	21.1	△125	—	△124	—	△80	—
2026年3月期第1四半期	2,204	6.2	△214	—	△192	—	△130	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 1,311百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △11百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△19.93	—
2026年3月期第1四半期	△32.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	33,579	17,349	51.7
2026年3月期	31,385	16,159	51.5

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 17,349百万円 2026年3月期 16,159百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	4,900	3.4	△80	—	0	—	0	0.00
通期	10,000	△1.1	70	305.6	200	9.9	150	△15.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. (3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2027年3月期1Q	4,069,747株	2026年3月期	4,069,747株
2027年3月期1Q	35,187株	2026年3月期	35,167株
2027年3月期1Q	4,034,569株	2026年3月期1Q	4,035,228株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や継続的な賃上げを背景に、緩やかな回復基調で推移しました。個人消費も底堅く推移したものの、円安や物価上昇による生活防衛意識の高まりに加え、中東情勢や米国の通商政策の動向、エネルギー価格の高騰など、景気の先行きには依然として不透明感が残る状況となりました。

このような環境のもと、当社グループにおきましてはユニフォーム事業および健康・生活事業において受注・販売が堅調に推移したことなどにより、売上高は前年同期を上回りました。

また当社グループは、2026年度を初年度とする中期経営計画「受け継ぐ力、未来へ～創業220年に向けた基盤づくり～」を策定いたしました。本計画では、創業220年に向けた成長基盤の構築を目指し、事業構造やビジネスモデルの見直しを進める改革期間と位置付けております。「組み方・商品・売り方・考え方」の4つの改革を軸として、事業ポートフォリオの最適化や高付加価値商品の開発、EC強化、AI・データ活用等を推進し、収益性および資本効率の向上に取り組んでまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高2,670百万円（前年同期比21.1%増）、営業損失125百万円（前年同期は営業損失214百万円）、経常損失124百万円（前年同期は経常損失192百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失80百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失130百万円）となりました。

<和装事業>

ツカモト市田株式会社の和装事業につきましては、加工受注およびダイレクト販売は堅調に推移したものの、催事販売の減少により減収となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は167百万円（前年同期比4.5%減）、セグメント損失（営業損失）は93百万円（前年同期はセグメント損失70百万円）となりました。

<洋装事業>

アパレル事業につきましては、メンズ事業における不採算売場からの撤退および海外生産のレディースOEM事業からの撤退により減収となりましたが、収益性の向上により損益は改善いたしました。

ユニフォーム事業につきましては、直需案件およびレンタル案件の受注が増加したことにより、増収増益となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は1,463百万円（前年同期比30.4%増）、セグメント利益（営業利益）は137百万円（前年同期比12,176.9%増）となりました。

<ホームファニッシング事業>

ホームファニッシング事業につきましては、受注獲得が進んだことにより増収となり、利益面についても改善いたしました。

以上の結果、当事業分野の売上高は99百万円（前年同期比43.2%増）、セグメント損失（営業損失）は37百万円（前年同期はセグメント損失73百万円）となりました。

<健康・生活事業>

健康・生活事業につきましては、テレビ等の通信販売およびEC販売が堅調に推移したことにより増収となりました。一方で、円安やエネルギー価格の上昇等による製造原価の増加に対し販売価格への転嫁が十分に進まず、損失が拡大いたしました。

以上の結果、当事業分野の売上高は713百万円（前年同期比17.2%増）、セグメント損失（営業損失）は165百万円（前年同期はセグメント損失161百万円）となりました。

<建物の賃貸業>

建物の賃貸業につきましては、テナントの入居状況は概ね前年同期並みで推移したものの、費用が増加し減益となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は266百万円（前年同期比0.8%減）、セグメント利益（営業利益）は137百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産の部は、前連結会計年度末に比べ2,193百万円増加し、33,579百万円となりました。これは、流動資産における棚卸資産が217百万円増加したこと、及び投資その他の資産における投資有価証券が時価評価等により2,073百万円増加したこと等が主な要因となります。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ1,003百万円増加し、16,230百万円となりました。これは、流動負債における電子記録債務が210百万円増加したこと、輸入仕入における一時的な借入金の増加等により短期借入金が207百万円増加したこと、及び固定負債における繰延税金負債が655百万円増加したこと等が主な要因となります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ1,190百万円増加し、17,349百万円となりました。これは、株主資本における利益剰余金が配当金の支払及び親会社株主に帰属する四半期純損失により201百万円減少したものの、その他の包括利益累計額におけるその他有価証券評価差額金が1,417百万円増加したこと等が主な要因となります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想としましては、現段階で2026年5月15日発表の連結業績予想の修正は行っておりません。ただし、第2四半期連結累計期間及び通期の業績見込みにつきまして見直しが必要と判断した場合には、直ちに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,325,711	1,753,916
受取手形及び売掛金	1,590,705	1,227,861
電子記録債権	129,174	78,786
棚卸資産	2,171,226	2,389,042
その他	750,166	666,930
貸倒引当金	△3,636	△3,476
流動資産合計	5,963,349	6,113,060
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,008,682	1,989,369
土地	10,562,576	10,562,576
その他（純額）	102,801	104,348
有形固定資産合計	12,674,061	12,656,295
無形固定資産		
その他	77,513	82,915
無形固定資産合計	77,513	82,915
投資その他の資産		
投資有価証券	10,839,200	12,912,718
出資金	500,120	500,120
退職給付に係る資産	1,214,227	1,217,783
その他	252,790	232,164
貸倒引当金	△135,263	△135,263
投資その他の資産合計	12,671,074	14,727,522
固定資産合計	25,422,649	27,466,733
資産合計	31,385,998	33,579,794
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	874,312	837,246
電子記録債務	469,575	679,651
短期借入金	5,612,418	5,819,586
1年内返済予定の長期借入金	1,380,000	1,380,000
未払法人税等	48,952	18,040
未払消費税等	15,230	14,747
その他	499,442	460,789
流動負債合計	8,899,931	9,210,060
固定負債		
長期借入金	1,010,321	999,063
繰延税金負債	4,464,194	5,119,985
再評価に係る繰延税金負債	13,032	13,032
退職給付に係る負債	140,081	142,143
資産除去債務	881	881
その他	698,228	745,031
固定負債合計	6,326,739	7,020,137
負債合計	15,226,671	16,230,198

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,829,844	2,829,844
資本剰余金	713,177	713,177
利益剰余金	6,418,998	6,217,730
自己株式	△42,390	△42,415
株主資本合計	9,919,630	9,718,337
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,808,336	7,225,450
土地再評価差額金	8,780	8,780
退職給付に係る調整累計額	422,579	397,027
その他の包括利益累計額合計	6,239,696	7,631,258
純資産合計	16,159,327	17,349,595
負債純資産合計	31,385,998	33,579,794

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,204,841	2,670,515
売上原価	1,606,378	1,892,974
売上総利益	598,463	777,541
販売費及び一般管理費	812,777	902,957
営業損失(△)	△214,314	△125,416
営業外収益		
受取利息	764	533
受取配当金	45,698	41,134
保険配当金	5,220	5,569
為替差益	2,150	756
その他	4,994	3,235
営業外収益合計	58,829	51,229
営業外費用		
支払利息	34,334	44,502
手形売却損	465	463
その他	1,734	4,920
営業外費用合計	36,533	49,886
経常損失(△)	△192,018	△124,072
税金等調整前四半期純損失(△)	△192,018	△124,072
法人税、住民税及び事業税	△61,708	△43,537
法人税等調整額	△144	△144
法人税等合計	△61,853	△43,682
四半期純損失(△)	△130,165	△80,390
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△130,165	△80,390
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	145,875	1,417,113
繰延ヘッジ損益	130	—
退職給付に係る調整額	△27,746	△25,551
その他の包括利益合計	118,260	1,391,561
四半期包括利益	△11,905	1,311,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,905	1,311,170
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	29,526千円	29,677千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	和装事業	洋装事業	ホームファニ シング事業	健康・生活 事業	建 物 の 賃 貸 業	計		
売上高								
外部顧客に対する 売上高	175,055	1,122,770	69,269	588,921	247,580	2,203,598	1,242	2,204,841
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	19,981	20,538	40,520	—	40,520
計	175,055	1,122,770	69,269	608,903	268,119	2,244,118	1,242	2,245,361
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△70,479	1,119	△73,548	△161,535	146,801	△157,642	955	△156,686

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との
差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	△157,642
「その他」の区分の利益	955
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△57,627
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△214,314

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	和装事業	洋装事業	ホームファニシング事業	健康・生活事業	建物の賃貸業	
売上高						
外部顧客に対する売上高	167,192	1,463,730	99,164	693,614	246,812	2,670,515
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	204	—	20,172	19,267	39,644
計	167,192	1,463,935	99,164	713,787	266,080	2,710,160
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△93,039	137,378	△37,388	△165,681	137,762	△20,969

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において「その他」に含まれていた新規事業等について、当該事業から撤退したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より「その他」の区分を廃止しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	△20,969
セグメント間取引消去	△300
全社費用(注)	△104,146
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△125,416

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。